

# 米の需給状況について

令和8年5月22日  
福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

令和8年産主食用米の生産数量の目安(面積)を、令和7年産の生産実績と同じ67,000ha(備蓄米作付面積6,300haを含む)に設定しています。

一方、作付意向調査結果(4月末)では、備蓄米作付面積5,500haを含め67,700haとなり、目安を700ha上回る見込みとなっています。

主食用米から加工用米や新市場開拓用米等への転換を検討するなど、需要に応じた生産の実践をお願いします。

## 1 令和8年産主食用米の生産数量の目安について

令和8年産の主食用米の生産数量(面積)の目安については、生産基盤の状況等から、米の生産量を維持するため、現状の生産面積を維持する必要があるとともに、国が公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針」における生産量の見通しや本県産米における需要量シェア等を考慮し、令和7年産の作付実績と同じ67,000ha(備蓄米6,300haを含む)と設定しました。

## 2 水田における作付意向(4月末時点)

令和8年5月20日、国は4月末時点における令和8年産米の作付意向を公表しました。全国的には主食用米の面積がわずかに減少しているものの、概ね前年並みの見通しとなっています。

また、平均単収で生産量を試算すると733万トンとなり、政府が3月に公表した需要見通し711万トンを22万トン上回っています。

本県における主食用米の作付面積は62,200haと前年より減少する傾向となっていますが、備蓄米作付面積5,500haを含めると67,700haになり、目安を700ha上回る見込みとなっています。

○本県の水田における作付意向(4月末時点)

単位：千ha

	主食用米	備蓄米	加工用米	新市場 開拓用米	飼料用米	WCS用稲	麦	大豆
令和7年産	67.0	0	0.9	0.1	1.4	0.9	0.4	0.8
令和8年産	62.2	5.5	0.7	0.2	1.2	0.8	0.4	0.8
対前年差	▲4.8	+5.5	▲0.2	+0.1	▲0.2	▲0.1	0.0	0.0

## 3 国の需給見通しの変更及び民間在庫量について

国は、令和8年3月23日に開催した「第72回食料・農業・農村政策審議会 食料部会」において、需要量の変動や今年1月末時点の作付意向調査結果を踏まえ、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」を変更しました。

今回の変更により、令和8年6月末の民間在庫量は221~234万トン、今年1月末時点の作付意向調査結果を踏まえた令和9年6月末の民間在庫量が229~271万トンとなり、適正水準とされる200万トンを大幅に上回る見通しとなっています。

これまで、在庫が過剰になると米価が大きく下落していますので、主食用米から、交付金活用により収入の見通しが立つ加工用米や新市場開拓用米等への転換を検討するなど、需要に応じた生産を実践してください。